



Southern Cross

くるす
わびわん

vol.21

KINAN HOSPITAL
OFFICIAL INFORMATION PAPER
March 1st.2012

大動脈瘤に対する新たな治療戦略 ステントグラフト挿入術の御紹介



心臓血管外科
秦 広樹

当院は昨年、血管病に関連する10の医学会が合同で設立した「日本ステントグラフト(以下SG)実施基準管理委員会」より腹部SG実施施設及び胸部SG実施施設の認定を受け、年末から本格的に治療を開始しています。今回はこれから増加が予想されるSG治療について御紹介したいと思います。

そもそも大動脈瘤のほとんどは無症状ですが、破裂すると激しい胸痛、腰腹部痛、大出血による意識障害などを引き起こし突然死の危機に瀕する状態となりえます。運よく病院までたどり着いても救命が困難なことも少なくありません。つまり大動脈瘤では破裂する前での予防的な治療が重要であるわけで、従来は開胸または開腹して瘤を切除し人工血管に置き換える人工血管置換術が行われました。比較的大きな全身麻酔手術であり患者さんの体の負担も決して少なくありませんでした。

一方、数年前より広まりつつあるのがSGを用いた血管内治療です。SGは人工血管にステントと呼ばれるバネ状の金属を取り付けた新型の人工血管で、これを圧縮して細いカテーテルの中に収納します。全身麻酔または局所麻酔下に鼠径部(股のつけね)を4-5cm切開して動脈内にカテーテルを挿入し瘤の部位まですめたとこで収納されていたSGを放出します。放出されたSGは金属バネの力と血圧により広がって血管内壁に張り付けられ直接縫合しなくとも固定されます。瘤は切除されませんがSGによってカバーされるので破裂の危険がなくなります。多くの瘤では血流がなくなって内腔が血栓化し縮小する傾向が見られます。従来の手術に比べ切開創が小さくまた手術時間も短縮されるので体への負担は極めて小さくなり早期退院、早期社会復帰が望めます。

昨年末に当院で腹部大動脈SG留置術を施行された患者さんの場合、手術時間は1時間弱、術当日夕方にはトイレ歩行され、術後3日目に退院、その翌日には趣味の岩登りをするほど順調に回復されました。もちろん経過には個人差がありますが、従来手術より体の負担が少ないことは間違いなく、高齢や合併疾患などの理由で手術を躊躇されていた患者さんにとっては希望の光とも言える画期的な治療法です。

ただ現段階において、SG留置術は大動脈瘤の全てが対象とはなりません。瘤の部位、形態、前後の大動脈の性状、患者さんの病態などによってSG治療が適しているかどうか判断され、従来の人工血管置換術の方が安全で確実と判断されれば開胸・開腹手術を行います。

いずれにせよ、大動脈瘤と言われたことのある方は一度当科に御相談下さい。皆さんそれぞれに相応しい治療法と一緒に考えましょう。"



東芝メディカルシステムズ「画論ザ・ベストイメージ2011」で優秀賞!



画像診断技術を競う全国コンテストがあり、当院臨床検査技師 竹中正人が心臓エコー部門で、同木下博之が腹部エコー部門で優秀賞を受賞しました。通算10回目の入賞で、入賞回数は全国2番目となり、エコーの診断技術はトップレベルにある、といえます。鮮明なエコーの画像は、的確な診断及び治療につながります。今後も、ハイレベルのエコー検査を地域の皆様に提供していきますので、よろしくお願ひします。

がんのリハビリテーション研修に参加

がん診療連携センター長 長岡 眞希夫

皆様ご存知のとおり、厚生労働省は、がん対策を推進する目的で、「がん対策基本法」を平成18年に制定し、平成19年4月1日から施行しています。そのなかに「がん患者が可能な限り質の高い療養生活を送れるようにする」と明言されています。「がんのリハビリテーション」はこうした意向にそって、がんによる療養中の患者さんのあらゆる状態に対応して、ADL・QOLを低下させないようにするものです。このため、非常に多岐にわたった対応が必要で、病院全体の機能をフルに活用してチームとして対応することが要求されます。当院でも、栄養はNST、術前後の呼吸器リハ、術前、化学療法前の口腔ケア、廃用に対して運動リハ、嚥下障害に対するVF、構音障害に対する発声練習、乳癌・子宮癌・前立腺癌術後のリンパ浮腫対策など個々については導入して行っていますが、これらを、総合的にチームとして行う必要性の重要性が、今回の研修で、改めて再確認されました。当院でも「がんのリハビリテーション」を導入していきたいと思っておりますので、その際にご協力をお願いします。



理学療法士 真砂 昌史

1月21日、22日に京都で行われたがんリハ研修に、長岡副院長、白神Ns、古久保STとともに参加しました。

カリキュラムが多く、大変忙しい研修でありましたが、48施設のモチベーションの高い方々と一緒に勉強ができ、大変参考になりました。がんリハは、多岐にわたり色々な事が必要で、新しく勉強しなければならない事、今やっている事を深く追求しなければならない事などを再確認でき、有意義な研修でした。これを機会にがんについて、さらに勉強していきたいと思っております。

5階西病棟看護師 白神 吉子

1月21、22日と京都大学にて、がんリハ研修に参加しました。研修では、まずKJ法(※1)にてグループワークを通して、がんのリハにおける問題点を明確にし、最終的にその問題点を解決に導けるように話し合うことができ、とても理解しやすい研修でした。研修に参加した48施設のうち、すでにごんリハを実際に行っていたり、又は、当院のようにまだ始めていないなど、個々の事情は様々でしたが、やはり、がんリハ実施にあたっては人員やシステム、リスク管理などの問題点があるようでした。特に、当院ではがんリハの必要性が認識されていないことが、まず、問題点として挙げられ、その解決として、がんリハの必要性を啓発していかなければならないと目標設定を行いました。

自分自身もこの研修に参加するまではがんリハの必要性についてあまり大きく考えた事がなく、乳癌に対してのリンパドレナージやがんの終末期患者に対する廃用症候群へのリハビリ等、個々で行っているリハビリは知っていましたが、チームとして総合的な関わりが大切とこの研修を通して学ぶことができました。

この学びをいかして、まずは、がんリハの必要性を周知していけるように努めたいと思っております。

言語聴覚士 古久保 良

2日間にわたり講義とグループディスカッションを受けました。参加者が多く、選考で決められていることを知り、改めてがんのリハビリテーションに対する関心の高さを感じました。

研修に参加して、がんの病態や治療方法、リハビリテーションの考え方など知らないことが多く、勉強になりました。特にがんのリハビリテーションの場合、手術後や化学療法・放射線療法後に全身状態が低下することを予測し、廃用や呼吸方法などあらかじめ予測される状態に対して、先にリハビリテーションを行い、できるだけ患者のADL・QOLを下げないということでした。今まで何か症状が出たらリハビリテーションをするという考えが一新された瞬間でした。

まだまだ勉強することは多いですが、少しずつ自分の知識・技術にしていきたいと感じました。

(※1)

KJ法とは、文化人類学者川喜田二郎先生が開発した情報整理の手法です。1つのデータを1枚のカードにまとめ、よく似たデータをグループに分けながら情報を整理していくのですが、カードの操作に独特な手法が取られており、アイデアをまとめるのに有効と言われています。川喜田のKと二郎のJを取ってKJ法(ケイジェイほう)と名付けられました。

地域医療連携だより

紀南病院地域医療室には、いつも大変お世話になっております。当方は、旧串本町で内科一般で開業しております。現在串本町は、行政上は、古座町との合併により、東牟婁郡となっておりますが、元は西牟婁郡であり、医師会も旧串本町は、西牟婁郡のままとなっております。というわけで、従来串本町は、田辺西牟婁と近い関係にあり、患者様の紹介も紀南病院や南和歌山医療センターであることも、結構あります。一般外来では、管理が難しい病気や、診断が難しいケースなど紹介させていただいております。その際、地域医療連携室の存在は、有り難く、急患でない場合によく利用させていただいております。



西牟婁郡医師会会長

鎌田医院

鎌田 俊彦

しかしながら、日本列島は、地震の活動期に入ったようで、東海、東南海、南海地震の危険のある、当地も災害に備えなければと思っており、通信の確保に、医師会では衛星携帯電話の設置等を考えております。

ここで、目を国内の医療行政に向けますと野田総理は、内閣改造を行い、岡田前幹事長を副総理とし、「社会保障と税の一体改革」、「消費増税」を不転の決意で行うと述べています。具体的に言いますと、「受診時定額負担」の検討、「70才～74才の窓口負担割合を1割から2割へ引き上げ」、「市販類似薬の患者負担を引き上げ」、「外来受診適正化により外来患者を5%減らす」、介護の分野では、「要介護認定者数の3%削減」等給付削減を考えています。

国民に痛みを伴う改革を行うのであるから、自らも行財政改革を行い、議員定数、歳費の削減、公務員定数の削減、給与削減を行うというしておりますが、民主党にどの程度できるか不明であります。官僚主導から政治主導と、政権を取りましたが、どう間違えたか、タクシーのハンドルを取り、客席に官僚を乗せて、走っているという主客転倒状態にあると誰かが例えておりました。



医療を取り巻く環境は、相変わらず厳しく、財政中立策からくる医療費抑制策、TPP等による絶えざる市場化への圧力、医師卒後研修の改変からくる地域医療の崩壊、消費増税からくる、控除対象外消費税の問題、医療事故調査、災害医療、医療監査と指導のあり方、特定看護師の問題等、問題山積みの状態にあります。諸先生方のご意見、ご指導の程宜しく願います。以上、簡単ではございますが、最近思っていることを書いてみました。

看護学校だより



平成23年12月20日(火)に第35回生31名のケーススタディの発表会を行いました。臨地実習で受け持たせていただいた患者様への看護を振り返り、看護実践の結果を評価・考察し、自己の看護観を深める機会となりました。

35回生から臨床実務に即した患者管理、医療の安全の講義や総合実習を行い、その中で、夜間の実習を初めて実施しました。学生はしんどいけど、夜間での患者様の状態や看護の実際を学び、チーム医療の大切さや入院している患者様を理解することの必要性を学ぶことができました。

卒業式

平成24年3月2日、第35回生の卒業式が行われます。



病院のまど

第35回市民健康講座について

手術って、手術台にのせられて、メスで切られて・・・、想像するだけでも痛そうです。もっと痛みの少ない手術ってないんですか？

医学の進歩により、現代では、従来の手術よりも痛みの少ない治療法として腹腔鏡手術があります。これは、お腹に数カ所小さな穴を開け、器具を挿入しテレビモニターを見ながら行う手術のことです。痛みが少なく退院や社会復帰も早いと言われています。この機会に、この手術について一緒に学んでみませんか？

日 時	平成24年3月25日 (日)
時 間	午後2:00～3:00
演 題	腹腔鏡手術のお話 ～身体に優しい手術～
演 者	宮崎 知 (紀南病院 外科部長)
会 場	紀南病院 3階講堂

第34回市民健康講座について

1月29日に今年初めての市民健康講座が開催されました。今回は「糖尿病と食事療法」というテーマで、前半は藤本医師が糖尿病について講演し、後半に小出栄養士が栄養バランスの良い食事について講演をおこないました。

藤本副院長と小出栄養士の発案で、受講者に具体的な食事内容を目で確認していただく為、栄養科総動員でカロリー別で3種類、1日3食分合計9食を調理し会場に陳列しました。料理をおいたテーブルの前には受講者が群がり栄養士に熱心に質問をぶつけていました。参加者は115名と大変盛況で、食の大切さを実感した1日でした。

編集後記

3月を迎え、甚大な被害をもたらした東日本大震災から1年が経とうとしている。

大切な人や故郷を奪われた人、思い描いていた未来を失った人もいることだろう。被災された方々は、どのような気持ちで過ごされているのだろうか。もう1年経った、まだ1年、やっと1年と、想いは様々であろう。

失うという辛さは同じ経験をした人でなければ、とうてい解り得るものではない。季節が巡り再び春が来るように、被災者の方々のやり場のない想いが少しでも早く和らぐことを心から願うばかりである。 S記

daikoku 株式会社 大黒

本社：〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

和歌山事業所	: 〒641-0012 和歌山市紀三井寺855-71
紀三井寺事業所	: 〒641-0014 和歌山市毛見 1111-1
大阪支店	: 〒550-0002 大阪市西区江戸堀 3-5-27
南大阪支店	: 〒594-0031 和泉市伏屋町2-16-11
紀南支店	: 〒646-0011 田辺市新庄町3778-2
神戸支店	: 〒650-0023 神戸市中央区栄町通5-2-6
奈良支店	: 〒630-8115 奈良市大宮町 4-295-10 奈良朝日生命川口ビル 1F
関西空港営業所	: 〒590-0523 泉南市信達岡中919-1
新宮営業所	: 〒647-0052 新宮市橋本 2-5-61
東京麹町オフィス	: 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-5-2 BUREX 麹町301号
京都丸太町オフィス	: 〒606-8395 京都市左京区丸太町通川端東入 東丸太町32-3 上田ビル 3F

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

保健・医療・福祉の分野で、
「生命を守る人の環境づくり」を通じて
地域の発展に貢献することが
私達の使命です。

SEIKO MEDICAL
医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

■本 社 〒640-8525 和歌山県和歌山市手平3-8-43 TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223	■田辺営業所 〒648-0011 田辺市新庄町2744番地 TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578
■大阪支店 〒595-0012 泉南市北野中町2丁目5番28号 TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3519	■新宮営業所 〒647-0072 新宮市橋本2-5-22番 TEL. 0735-31-9130 FAX. 0735-31-9133
■医大前営業分室 〒641-0012 和歌山県紀三井寺768番地の13 TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781	■奈良営業所 〒832-0082 天理市常崎町56番地の4 TEL. 0743-64-3807 FAX. 0743-64-4810